



# 挑戦の芽を 未来に紡ぐ

はじめの一步は、少しこわい。だからこそ私たちは、芽生えたばかりの「やってみたい」を大切に育てます。失敗しても、立ち止まっても大丈夫。その積み重ねが、未来を生き抜く力になるからです。保護者の方の迷いにも寄り添い、ともに歩んでいきたい。ノートルダム学院小学校は、小さな挑戦を確かな自信へとつなげ、子どもたちの一步一步を支え続ける学校です。



## 建学の精神



## 目指す児童像

神を敬い、自分も人も大切にする子ども  
よく考え、自ら学ぶ子ども  
健康でいきいきとした子ども

## 教育目標

よく祈り、よく学び、  
持っている力をよく伸ばし、  
それをつかって、人に奉仕しよう



ノートルダム学院小学校  
校長 原山 稔郎

## 一人ひとりの可能性を信じ、ともに歩む学校として

カトリックのミッション校である本校は、1954年に開校しました。

ノートルダム教育修道女会の創立者マザーテレジア・ゲルハルディンガーの「人が変われば世界が変わる」という言葉にあらわれる教育にかけた思いは、190年余りの時を経た現在でも、本校をはじめとする世界中のノートルダム校に脈々と受け継がれています。

変化の激しい現代社会において、多様化する問題に答えが見出せなかったり、道を見失ったりすることがあるかもしれません。しかし、幼少期に神の愛を知り、他者を思いやるやさしさを体験しながら成長すると、大切なことを見失わずに歩み、平和な社会づくりに貢献できると信じています。

学校長メッセージ

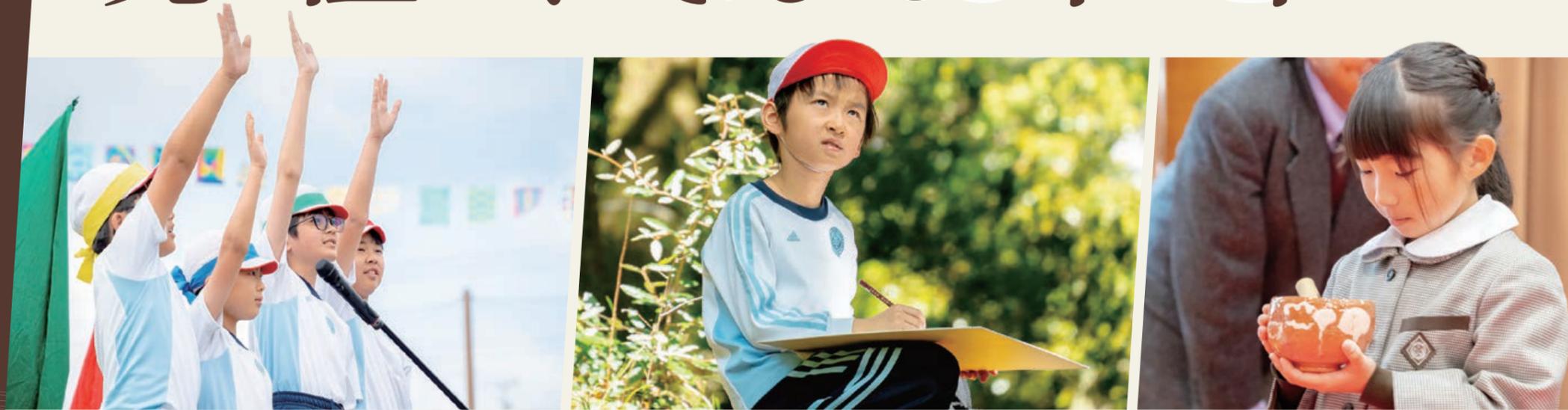


# 原点、

# 現在、そして未来へ

海を渡ったシスターたちの情熱  
ノートルダムの挑戦はここから

昭和の復興期に日本へ派遣された4人のシスター。彼女たちは、国境を越えて人々と心を通わせ、キリスト教の精神に基づく教育を京都へもたらすという使命を受けてやってきました。このミッションこそが、ノートルダムの挑戦の始まりです。シスターたちの願いは、多くの人々の支援と祈りに支えられて実現しました。その教育にける情熱は、今もなお大切に受け継がれています。



心を育て知を 磨き 世界を変える人になる

人が変われば、  
世界が変わる

創立者 マザー・テレジア・ゲルハルディンガー

ノートルダムの教育は、  
その理念から始まっています。

世界で活躍するために必要なのは、英語教育だけではありません。礼法や茶道を通して日本の伝統文化を知る。祈りによって他者への思いやりを身につける。体験学習を通じて仲間の多様性を認め合う。異なる文化や価値観を尊重できる豊かな心を大切に、真の国際人を育みます。

国際教育への  
取り組み



1948

1954

1955

1957

1966

1968

1972

1984

1991

1995

2001

2004

2013

2014

2024

2026

学校設立のため4名のシスターが  
アメリカミネソタ州のセントルイスより来日



野々神町の小学校新校舎竣工

ノートルダム学院小学校開校

学校給食開始4年生以上は  
男女別編成となる



特別教室棟竣工  
(聖堂・理科室・音楽室など)

プール竣工  
(メインプール25m×6コース、円形プール)



体育館・食堂竣工

創立30周年  
山の家竣工 山の家学習始まる

TV放送施設設置



講堂・特別教室竣工  
(図工室・コンピューター室  
TVスタジオなど)

2期制(前期・後期)の実施

創立50周年記念事業  
(床可動式プール竣工・校内LAN敷設・  
マリアンホール完成)

ヴィアートル学園との法人間協力のもと  
洛星中学校へのカトリック校特別選抜制  
度が誕生する



創立60周年 新校舎竣工

創立70周年

学校法人ノートルダム女学院は、  
ノートルダム学院小学校の設置・運営を  
学校法人ヴィアートル学園へ移行  
(2024年10月21日理事会・評議員会にて決定)

ノートルダムの理念 /



# ノートルダムには 安心して挑戦する 環境がある



6年間かけてじっくり育てる  
思いやりの心

毎日のお祈りを通じて心を整え、他者とのかわりの中で相手の意見を聞き、共感し、勇気と希望をもって行動することで「思いやりの心」を育てます。



一人ひとりに向き合い見守る  
教員の存在

担任だけでなく、各教科、学年、クラブなど、児童にかかわった多くの教員が一人ひとりを見守ります。児童の情報は共有され、学年や担任が変わっても引き継がれていきます。



助け合い支え合う  
仲間存在

日々の学校生活だけでなく、山の家を中心とした多くの体験活動をともにすることで仲間との絆は深まり、ともに助け支え合う心を育みます。

安心・安全な環境を支える土台として

## 学校生活の様々な取り組みも充実しています



### いじめ防止対策ガイドライン

いじめの未然防止と早期対応に全校で取り組み、「いじめ防止対策委員会」を中心に迅速に調査・解決へ進めます。万が一の際も最善の対応を行います。



### 「心」の安心も大切に

日々の丁寧な関わりや相談体制、「助けを求められる」環境に加え、毎朝の祈りで心を整え、安心して学びに向かう力を育てます。



### 防犯カメラ・防犯ベルの設置

創立50周年を機に、防犯カメラの設置を開始しました。教室や廊下には防犯ベルも設置し、緊急時に備えています。



### 避難訓練・防災訓練

年数回の訓練で身を守る力を育てます。その他にも、教員の研修を行ったり、全児童の2日分の食料などを備蓄したり、非常時に備えています。

安心・安全対策についてはこちら



世界を変える人を育てる

# 3本の柱



学び

確かな基礎学力と  
自ら考える力を育てる

01

自ら変わり、  
世界を  
変える人

02

English

伝わる喜びを知り  
英語を好きになる

03

体験

本物に触れ、  
生きる力と  
挑戦する心を育てる

# 考える力×支える力で、未来を切りひらく力をつける。

# 学び



## 探究と基礎で育てる、確かな学び

正解のない問いに挑む探究型の学びと、学びの基盤を固める確かな基礎の定着。その両輪で6年間の学びを段階的に育み、考える力と支える力をバランスよく伸ばします。

### カリキュラムの特徴

- 1 力を伸ばす探究型の学び方  
課題発見力・思考力・協働・表現・判断・探究の姿勢。
- 2 探究と成果を支える土台  
基礎学力の定着・学習の速度と精度・応用に向かう力と学びの負担の軽減。
- 3 支援を行き届かせる仕組み  
一人ひとりに寄り添う丁寧な支援と教科担任制による理解度の把握。

子どもたちの無限の力を伸ばすため、私たちは寄り添いしっかり支えます！

算数担当  
植村 教諭



### 6年間の学びのイメージ

1・2年  
基礎 / 教科書をじっくり



3・4年  
展開 / 広げる



5・6年  
発展 / 応用する



#### POINT 習熟度別算数

理解の状況に合わせたグループに分けて学びます。専門性を生かして理解度を丁寧に把握し、苦手な子は基礎をしっかり習得し、得意な子はさらに考える課題取り組みすることで、一人ひとりの力を無理なく伸ばします。

教科担任制のサポート※

※1・2年生は図工、音楽、英語、宗教といった一部授業のみ実施。3年生以降、国語、算数、理科、社会も順次教科担任制に移行していきます。理解度を丁寧に把握し、つまずきには早めに対処します。

### PBLと基礎学習の両輪で回る学び



「学び」をもっと知る！

正解のない探究型の学びと基礎学習。6年間で積み上げるこの両輪は、変化の激しい未来を生き抜く力の土台になるはず。一人ひとりの力や理解の状況に合わせた学習体制で、確かな学力と自信を育みます。



毎日の積み重ねで、世界へつながる一歩をつくる。

# English



## カリキュラムの特徴

### 「伝えたい気持ち」を大切に英語教育

ノートルダムの英語教育は、「伝えたい」という思いを大切にしています。6年間の英語学習を通して、英語を使う楽しさと自分の言葉で伝える力を育てています。

- 1 英語に親しむ毎日  
日々の積み重ねによる、聞く力・話す力の自然な育成。
- 2 トリプルサポート体制  
英語専科・ネイティブ・担任の連携による、理解度に応じた学習支援。
- 3 使って学ぶ英語体験  
発表や体験を通じた、伝える楽しさと自信の育成。



英語担当  
トビー 教諭

## 6年間の学びのイメージ



英語劇  
2年生の1月頃、1年生と保護者を招待し、All Englishで行う



Letter to Nepal  
ネパール姉妹校との文通プロジェクト



## 毎日の英語が「あたりまえ」な学校生活

本校では週2回の英語授業だけでなく、月～金の学校生活の中で毎日英語に触れる「English Everyday Program」を全学年で実施しています。短時間でも継続的に行うことで、英語を使う力を確実に育てます。



知識・技能+コミュニケーション能力の、バランスの取れた英語教育を行っています。

### English Module 月・金曜日



英語の授業で学習したことを中心に、スライドを見ながら声に出して発音練習をします。

リズムに合わせてテンポよくみんなで発声!

### English TV Broadcasting 火曜日

いつものTV放送をAll Englishで。放送委員、キャスターや英語クラブの子どもたちも担当し、先生へのインタビューなども放送しています。



### English 朝読書 水・木曜日

ネイティブ教員によるオリジナルの読み聞かせ動画の鑑賞。



先生のリアクションや覚えた単語、絵をヒントに一息懸命聞いています

日々の取り組みは、子どもたちの確かな力になっています



TOEFL Primary  
4・5年生全員がTOEFL Primary Step1に挑戦し、CEFR A1評価を得ています。



世界とつながる交流・研修  
海外の子どもたちとの交流を通して、英語でかかわる経験を重ねています。



LBS (Learning by Storytelling)  
大学教員と小学校教員が協働し、身近な場面や人物が登場するオリジナル絵本を活用した英語指導を研究しています。

「English」をもっと知る!



毎日、自然に英語に触れられる環境で、6年間を通して無理なくステップアップ。日々の「わかった!」「伝わった!」という小さな喜びを積み重ね、多様な世界とつながる力を育みます。

# 教室の外で出会う本物の 体験が、心と感性を育てる。

# 体験



## 感じて育てる。内面を磨き生み出す力

本校では、教室を飛び出し、本物に触れる体験を重視しています。学びを「実感」として積み重ねることで、知識の習得にとどまらない感性や考える力を育てます。

### カリキュラムの特徴

- 1 「本物」に触れる  
教科書だけでは得られない、実感を伴う学びの重視。
- 2 五感を使って理解を深める  
見て、聞いて、触れて、感じ、考えることによる学びの定着。
- 3 経験を重ね心を育てる  
多様な体験の積み重ねを通じた内面の成長。

やってみるから、わかることがある。楽しさも難しさも、大切な学びの時間です！

礼法担当  
秋田教諭



### 6年間の学びのイメージ



※上記は代表的な取り組みの一例です。年度により、内容は変わります。



### 五感を研ぎ澄ます「山の家学習」

本校が所有する、自然豊かな学びの場「山の家」。自然の中で考え、感じ、協力する。繰り返しの体験により「非認知能力」を育みます。

山の家での活動数  
年間 5~6回

忍耐力  
協調性  
創造性

五感を働かせる体験を通して、  
やり抜く力 (試行錯誤)  
協働する力 (対話・役割分担)  
工夫してつくり出す力 (創造・表現)  
を育てます。

### 学年別行事

学年が上がるごとに深まる体験。選択肢も広がり、「与えられる学び」から「選ぶ学び」へ。



「体験」をもっと知る！

教室の外に出て、見て、触れて、心で感じる。失敗も成功も、五感で味わうすべてが大切です。子どもたちの心を育み、自分らしく生きるための確かな原動力となる、本物の体験を用意しています。



試行錯誤を繰り返し、自ら学び、歩む6年間。

1年生 | Tさん

どんなことも友だちと助け合えるから、  
毎朝学校へ向かうのが楽しいです。



学校は遊びも勉強も楽しいです。登校する朝はいつも、早く学校に着いて友だちと鬼ごっこなどをして遊びたいと思っています。算数の計算や体育での縄跳びなど、新しいことに挑戦するときは難しいと感じることもありますが、友だちに教えてもらうことで頑張れます。わからないことや苦手なことは、これからは友だちと助け合っていきたいです。



3年生 | Nさん

苦手なこともまずはチャレンジ。  
乗り越える喜びを知っているから頑張れます。



私は苦手なことでも、まずはやってみたり練習したりすることが大切だと思っています。これまで、大縄跳びが先生のアドバイスでできるようになったり、習字を特訓して上手に書けるようになったりしました。初めてできたときは嬉しいし、苦手なことが上手になると楽しくなるので、諦めずにチャレンジしていこうと思います。



5年生 | Iさん

新しい挑戦もひとりじゃない。  
先生と仲間の存在がいつも心の支えです。



オーストラリア研修には、自分から積極的に参加しました。最初は緊張して、思うように英語も話せませんでした。一週間過ごすうちにだんだんと慣れることができました。不安な気持ちがあっても、友だちや先生に会える時間があることで安心できましたし、みんなと一緒に頑張っているおかげで、自分も挑戦できたと思います。



OB・OGメッセージ

卒業生インタビュー /



挑戦の積み重ねが踏み出す勇氣に。  
何事も「まずはやってみる」を学びました。



ノートルダム女学院高等学校3年生

砂古 萌音さん 第61回卒業生

私はどちらかというと消極的で、授業中に自分から手を挙げたり、やりたいことに進んで取り組んだりするタイプではありませんでした。しかしノートルダム学院小学校では、授業の中で発表やプレゼンをする機会が多く、日本語でも英語でも、人に自分の考えや気持ちを伝える経験をたくさんしました。これらの経験を積み重ねたおかげで、少しずつ苦手な気持ちを乗り越え、成長できたと感じています。また、ネパール姉妹校との文通を通して、英語が伝わるコミュニケーションの楽しさも知りました。どのような意見も自分から発信しなければ相手には伝わらないため、勇気を出して表現することの大切さにも気づかされました。6年間を通して小さな挑戦を積み重ねてきたことが、次の一步を踏み出すための自信を与えてくれたと感じています。今ではやらずに後悔するより、まずはやってみて納得したいと思うようになりました。これからもやりたいことにチャレンジしていきたいです。

京都大学医学部3回生

山本 莞太郎さん 第58回卒業生

僕は中学受験をしました。受験においては、遊びたい気持ちを我慢して勉強することも必要でしたが、そのおかげでここぞというときに頑張る力を身につけられました。また、受験したからこそ素晴らしい出会いと経験が中学・高校で待っていたので、中学受験にチャレンジして良かったと思っています。ノートルダム学院小学校では、本気で挑戦できる行事や、ホンモノに触れる体験の機会がたくさんありました。こうした経験は挑戦を避けずに受け止める心を育ててくれたと思います。中学受験はゴールではありません。大切なのは次にどう進むか、次に向かって努力できるかどうかです。そのためにも、幼い頃から自分で考えてやり抜く力を育てる環境が重要ではないでしょうか。物事を素直に吸収できる小学生時代の経験が土台となり、成長してからも地道な努力を続けることや、本気で頑張ることが可能になります。ノートルダム学院小学校は、その土台をつくれる場所だと思います。



頑張る力を身につけた中学受験。  
挑戦したからこそ拓けた未来がありました。

# 受験は壁じゃない。 未来へ進むための、 希望の一步。

受験は特別なことではありません。  
日々の学びを大切にすることで  
自然と開かれる選択肢の一つです。  
6年後、子どもたちがどのような進路も  
自信を持って選べるよう、  
確かな学力と豊かな人間性を育てています。



受験ガイド



## 01

POINT

学びが自然に身につく  
さまざまな「仕掛け」

基礎学力に加え、英語やICT  
教育を充実させ、世界で活躍  
できる力を育てています。



【取り組み内容】

- ・PBL
- ・日々の英語
- ・習熟度別算数
- ・ICT活用
- ・全校音楽会
- ・美術展

…など

## 合格実績

最新の進学情報はこちら



### 京都市内私立中学校

学校名	コース	2024 年度卒	2023 年度卒
ノートルダム女学院中学校 (内部進学)	グローバル探究コース	4人	7人
	グローバル総合コース	8人	10人
洛星中学校 (カトリック校特別選抜制度含む)	-	18人	24人
洛南高等学校附属中学校	-	6人	11人
同志社中学校	-	-	2人
同志社女子中学校	-	5人	4人
立命館中学校	-	2人	3人
東山中学校	ユリーカ	14人	24人
	エース	21人	32人

### 国公立・他府県中学校

学校名	2024 年度卒	2023 年度卒
府立洛北高等学校附属中学校	5人	4人
灘中学校(兵庫)	-	1人
高槻中学校(大阪)	10人	11人
東大寺学園中学校(奈良)	6人	3人



## 02

POINT

学びを確実に支える  
安心の学習サポート

定期テストや、漢字大会・計算大会・文章題大会、算数検定など、  
多様な機会での学習状況を把握し、  
放課後学習会で不安や疑問を  
しっかり支えます。



## 03

POINT

一人ひとりの進路希望に  
寄り添い、支える

蓄積されたデータを基に、一人ひとりの  
力を見極めながら個々に面談し、  
面接対策や本校限定のオープンキャン  
パスなどでより良い進路を支えます。

## 保護者の声



内部生保護者

子どもは内部進学を考えています。姉も内部進学をしており、姉のお友だちが「早くおいで。一緒に勉強しよう」と声をかけてくれるので、嬉しい安心できるみたいです。やりたいことがたくさんある子なので、勉強以外の好きなことにもチャレンジして欲しいですね。中学校でも、のびのびと学校生活を楽しんでもらえたらと思います。

中学受験は入学当初から考えていました。子どもがやりたいことに全力で打ち込むためにも、小学生時代の限られた時間を何に使うのか、明確にしておくことは大切ですね。受験勉強中は苦しんでいた時期もありましたが、同じように受験をする仲間と助け合いながら頑張れたおかげで、努力を成果につなげられたと思います。



外部生保護者

# School Life

施設・設備



北山の閑静な住宅街に調和する、洗練されたデザインの校舎。広々とした敷地には、豊富な屋外施設を備えています。自然光や風を取り入れた心地よい空間で、健やかに成長する子どもたちを見守ります。



【本館】聖堂



【講堂棟】体育館



【屋外】プール



【本館】教室



【講堂棟】講堂



【講堂棟】礼法教室



【屋外】大運動場



【屋外】第2コート



【本館】コミュニティスペース



※本イラストは学校全体のイメージ図です。建物の配置や形状などは、実際の校舎・施設と一部異なる場合があります。図の奥側に描かれているエリアは、隣接する京都ノートルダム女子大学の敷地をイメージしたものです。

## 給食

豊かな心と健康を育む給食。子どもたちへの愛情を込めて提供しています。



### 給食人気メニュー BEST 3

**第1位 カレーライス**  
全学年から愛される、ノートルダム伝統の大人気メニュー。「今日カレーやん!」と喜ぶ声が、あちこちから聞こえます。

**第2位 キムチ鍋**  
ちょっぴり刺激的でおいしい、高学年に人気の冬の定番。

**第3位 シチュー**  
やさしい味わいで、低学年の子どもたちに大人気。

#### 調理員から一言

食材や味つけにこだわった給食は、子どもたちだけでなく、保護者の皆様からも温かいお言葉をいただいています。



## アフタースクール

放課後や休暇も充実した体制で、子どもたちと忙しい保護者をサポート。

アフタースクールを詳しく知る



### ASC (After School Care) — 放課後事業運営会社への委託運営による、校内学童保育

#### POINT 3つの特徴

##### point 1

宿題を終えてから帰る  
スタッフが声かけ・見守りを行い、宿題を終えてから帰れるようサポート。

##### point 2

土曜・長期休暇も開室  
土曜日や長期休暇も開室。各家庭の都合に合わせて柔軟な利用が可能。

##### point 3

長期休暇中は  
昼食も学校で用意(有料)  
長期休暇中は希望者に昼食を提供するため、お弁当の準備が不要。



#### ASCの1日の流れ

##### 平日(授業日)

1. 授業終了後、ASC教室へ移動
2. 宿題タイム
3. おやつ
4. 放課後アクティビティ(読書・制作・外遊びなど)
5. 保護者のお迎え

##### 土曜・長期休暇中

1. 登室(8:30以降)
2. 宿題・アクティビティ
3. 昼食(希望者のみ)
4. 自由遊び・イベント
5. おやつ・帰宅準備
6. 保護者のお迎え

#### ご利用について

対象	本校の1~6年生(保護者の就労の有無は問いません)
実施日	平常授業日のほか、土曜日、春・夏・冬休み(お盆・年末年始などを除く)
費用	会員種別・ご利用内容により異なります。

### ASA (After School Activity) — 興味に合わせて幅広く挑戦できる、学校で行う課外アクティビティ

#### POINT 3つの特徴

point 1  
送迎いらずで安心して通える  
授業後そのまま参加でき、送迎不要。学校で受けられるので安心・安全。  
※水泳は踏水会のバスが学校内まで迎えにきます。

point 2  
20を超える多彩な講座で「好き」が見つかる  
ピアノやサッカーなど20以上の講座から、気軽に新しい興味に挑戦できる。

point 3  
家族時間がしっかり持てる生活リズム  
放課後に活動が完結するため、帰宅後は家族の時間をゆっくり過ごせる。



#### 講座一覧

##### 英語プログラム

- After School English(学年別)
- English for Test Preparation
- Advanced English

##### 音楽・演奏

- ピアノ
- お琴
- サックス
- フルート
- ヴァイオリン
- ギター・ウクレレ教室

##### 学びと探究

- 算数パズル教室
- 速読言語力講座
- 理科実験教室
- そろばん
- 名門会
- こたばの教室

##### スポーツ・体づくり

- ダブルダッチ
- 体操教室
- 水泳(踏水会)

##### 親子で取り組む

- 親子華道
- 親子茶道
- 親子ステンドグラス

- Virtus(サッカー)

#### ご利用について

対象	本校の1~6年生
実施日	平常授業日、土曜日(短縮授業日・長期休暇中は休講)
費用	講座ごとに異なります(月額制・1講座あたり例:ピアノ月6,000円~)

※1年生は5月に見学、6月から参加スタート。  
※各講座は申込制・定員制。申込人数が少ない場合は開講しないことがあります。

# One Day at Notre Dame

ノートルダムのとある一日

動画で見る  
1年生の1日



## パートナー制度

本校には、上級生と下級生がペアとなって兄弟姉妹のように絆を深めあう、パートナー制度があります。普段から一緒に遊んだり、一緒に授業を受けたり、学年やクラスを超えた人間関係を育みます。



1年生が給食に慣れるまで、6年生が配膳のお手伝いをします。



山の家で活動でも、パートナーと協力する機会が沢山あります。

## 年間行事

- 4 入学式  
前期始業式  
新入生歓迎会
- 5 聖母月のミサ・集い  
遠足  
写生会
- 6 スポーツフェスティバル
- 7 京私小連水泳記録会
- 8 プール学習  
夏休み
- 9 前期終業式  
写生展
- 10 後期始業式  
硬筆大会・硬筆展  
修養会(6年生)  
ND フェスティバル  
ディスクアリー(6年生)  
平和学習
- 11 死者月のミサ・集い  
全校音楽会  
ランフェスティバル
- 12 クリスマスの集い  
大茶会(1年生)
- 1 書き初め大会・書き初め展  
TOEFL Primary(4・5年生)  
食礼  
スキー学習  
英語劇(2年生)
- 2 美術展  
スキー学習・合宿  
卒業茶会(6年生)  
漢字検定
- 3 数学技能検定  
6年生を送る会  
卒業式  
修了式



朝の光とともに迎える登校時間。警備員や先生、友だちと挨拶をかわしながら、今日も一日が始まります。



健康を確かめ予定を共有し、みんなで心を整えて、学びの準備を進める時間です。



校内で手づくりしている温かな食事を、友だちと囲む給食の時間。笑顔で味わいながら、心とお腹を満たします。



英語学習や礼法学習を通して、国際性と伝統とともに学び、未来へ確かな力をつなげます。



今日も一日おつかれさまでした。また明日、元気いっぱい登校しましょう！



読書に親しみ、学びの準備を進めます。

週2回はネイティブ教員作成の英語の読み聞かせ動画鑑賞



基礎学力を大切に授業を行います。一人ひとりの興味を活かし、学びを深めます。



図工や音楽で感性を育み、協働的な学びで非認知能力を高めます。



一日の振り返りを行い、良かったことを共有して締めくくります。



ASA、ASCを利用する児童は教室を移動し、安全に放課後の時間を過ごします。

## 制服

多様性に配慮した男女兼用のデザイン。季節や好みに合わせて選択することができます。

### 夏制服

- 半袖シャツ
- 長ズボン
- 半ズボン
- スカート
- ワンピース
- サマーカーディガン
- 制帽



### 冬制服

- 上衣
- 長袖シャツ
- 長ズボン
- 半ズボン
- スカート
- セーター
- 制帽



### その他の指定品

- コート
- ソックス
- フックベルト
- 制リュック
- マフラー



## 安全対策

安心して通っていただけるよう、さまざまな対策を行っています。



### 登校時間の見守り体制

登下校時は交通指導員が見守り、校門には警備員が常駐して子どもたちの安全を確認しています。



### ICタグで登下校を自動通知

全児童はICタグ「ミマロム」を携帯し、正門通過時に保護者へ自動で通知メールが届きます。



### 一斉配信メール「ツムギノ」

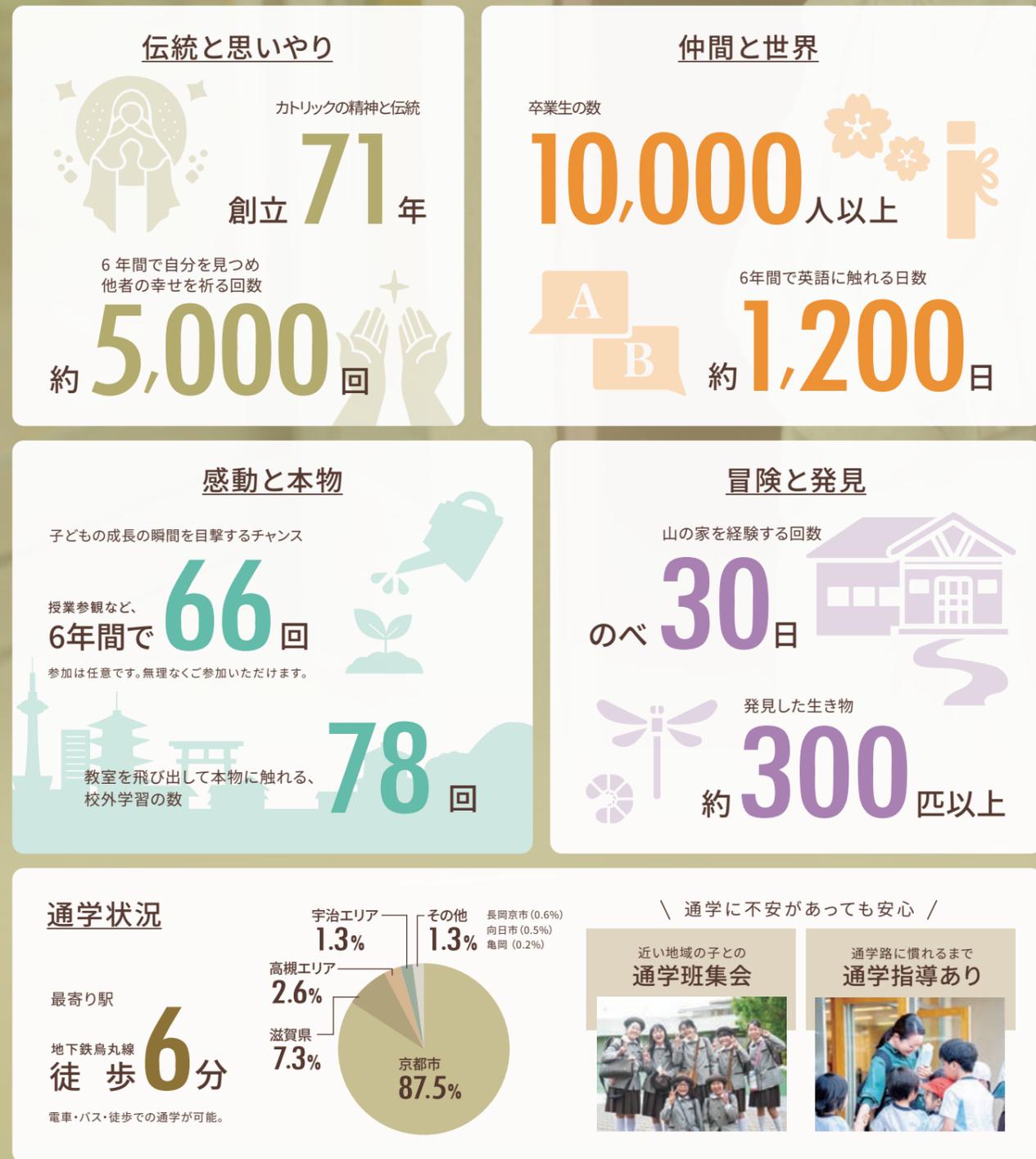
非常時の連絡や日常のお知らせにツムギノを導入。学校からのお知らせをすぐに確認できます。



学校行事を見る

# Data of Notredame

数字で見るノートルダム



挑戦し続ける学校であるために。

最新情報や学校生活について日々発信しています！ぜひチェックしてください。

LINE @063ytxbj

Instagram @notre\_dame\_elementary\_school

YouTube @ノートルダム学院小学校-c5o